

スギ・ヒノキ花粉飛散予測のまとめ

1 各調査手法によるスギ・ヒノキ花粉の飛散数予測

表 1 予測数まとめ

観測点 区市名	予測 A (佐橋) (資料 2 2-5 頁)	予測 B (横山) (資料 3 3-5 頁)	予測 C (村山) (資料 4 4-3 頁) ※十の位を四捨五入
千代田	2,700~3,200	4,400	3,500
葛飾		4,800	3,800
杉並		5,200	3,200
北		4,900	2,900
大田		2,900	3,500
青梅		7,700	9,200
八王子	4,400~5,000	5,300	5,800
多摩		3,600	5,900
町田		3,600	4,600
立川		3,300	4,600
府中		3,600	3,300
小平		2,600	2,700

(個/cm²/シーズン)

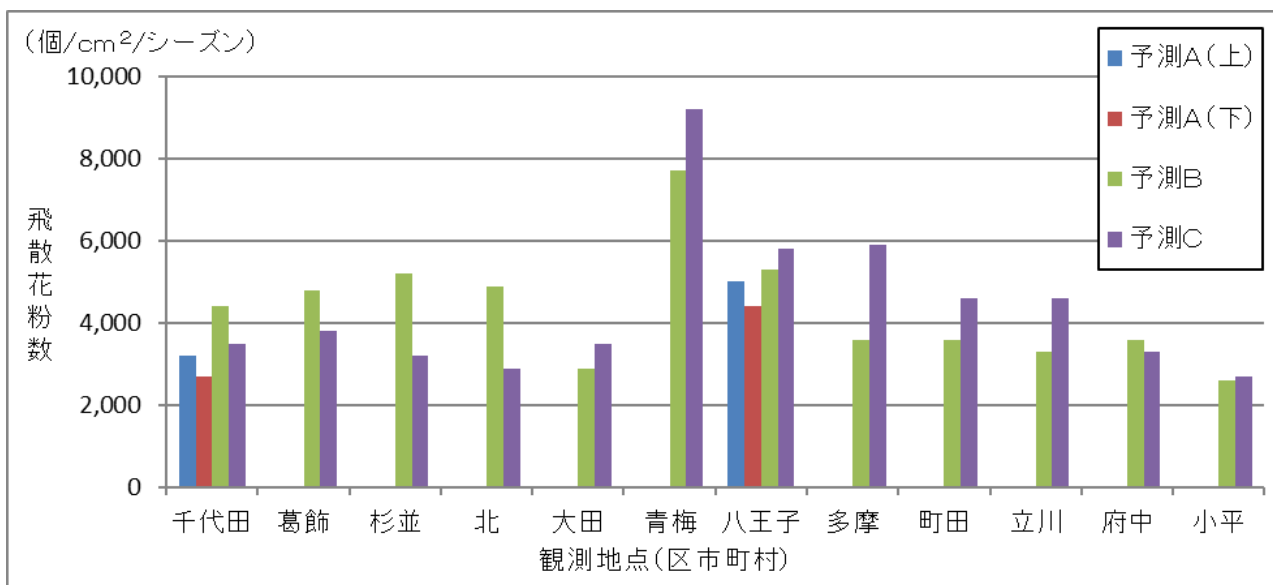


図 1 飛散数予測の比較

2 予測の調整

表2 各予測と予測幅案

測定点 区市名	予測A (佐橋)	予測B (横山)	予測C (村山)	予測D (調整後)	下限※	上限※
千代田	2,700~3,200	4,400	3,500	3,950	3,358	4,543
葛飾		4,800	3,800	4,300	3,655	4,945
杉並		5,200	3,200	4,200	3,570	4,830
北		4,900	2,900	3,900	3,315	4,485
大田		2,900	3,500	3,200	2,720	3,680
青梅		7,700	9,200	8,450	7,183	9,718
八王子	4,400~5,000	5,300	5,800	5,550	4,718	6,383
多摩		3,600	5,900	4,750	4,038	5,463
町田		3,600	4,600	4,100	3,485	4,715
立川		3,300	4,600	3,950	3,358	4,543
府中		3,600	3,300	3,450	2,933	3,968
小平		2,600	2,700	2,650	2,253	3,048

※ 予測Dの±15% (小数点以下四捨五入)

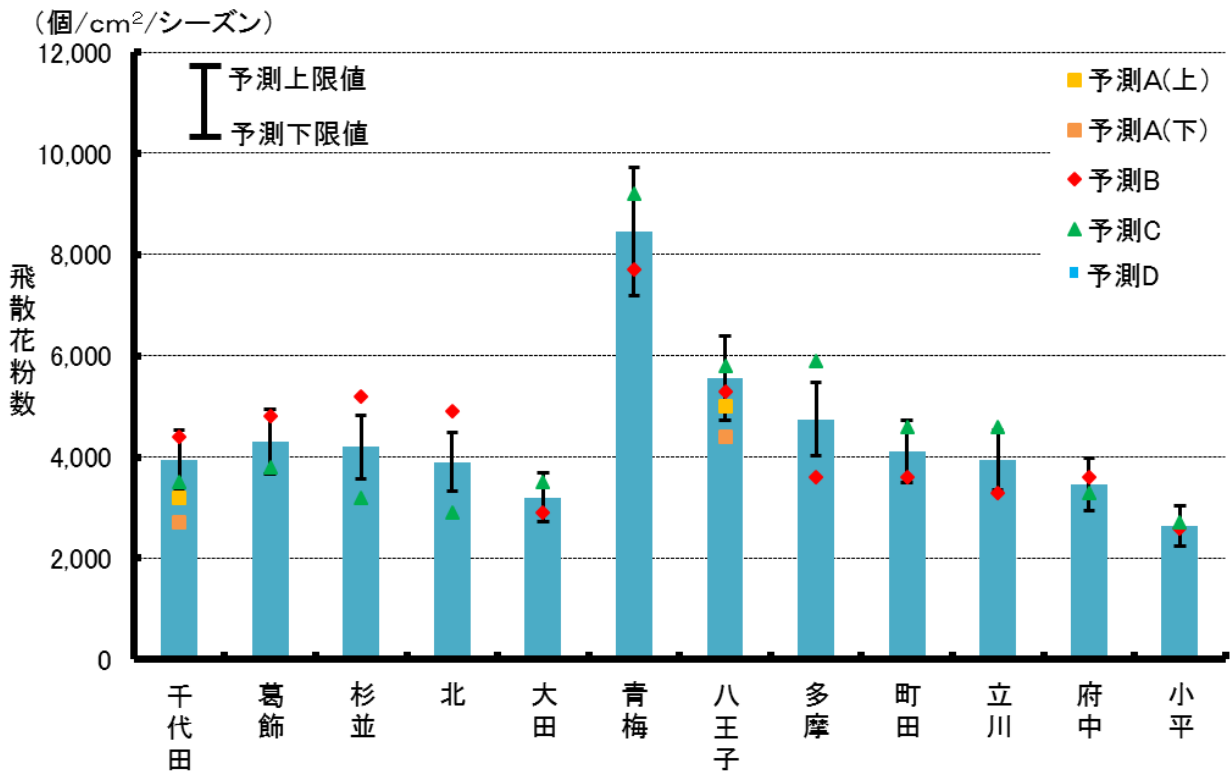


図2 予測幅案と各予測との比較

3 スギ・ヒノキ飛散花粉数予測のまとめ

表3 飛散花粉数

測定点 区市名	令和3年 飛散花粉数予測値※1	令和2年比 過去10年平均比	令和2年 飛散花粉数	過去10年の 平均飛散 花粉数	過去の 飛散花粉数※2	
					最小	最大
千代田	3,300~4,500	1.4~1.9 0.6~0.9	2,419	5,270	277	11,465
葛飾	3,600~4,900	1.8~2.4 0.7~0.9	2,025	5,345	136	11,959
杉並	3,500~4,800	1.0~1.4 0.6~0.8	3,436	6,263	118	14,614
北	3,300~4,400	1.5~2.0 0.6~0.9	2,173	5,131	242	11,707
大田	2,700~3,600	1.3~1.8 0.5~0.7	2,028	4,968	148	12,481
区部平均	3,200~4,400	1.3~1.8 0.6~0.8	2,416	5,395	—	—
青梅	7,100~9,700	1.6~2.2 0.6~0.8	4,422	12,876	125	37,899
八王子	4,700~6,300	1.6~2.1 0.5~0.7	2,990	8,975	142	24,958
多摩	4,000~5,400	1.1~1.5 0.5~0.7	3,651	7,923	1,035	21,565
町田	3,400~4,700	2.2~3.1 0.6~0.9	1,511	5,440	215	18,914
立川	3,300~4,500	1.9~2.6 0.6~0.8	1,710	5,732	1,292	19,969
府中	2,900~3,900	1.3~1.7 0.6~0.8	2,260	4,832	772	15,914
小平	2,200~3,000	1.7~2.3 0.7~0.9	1,311	3,365	291	12,345
多摩地域平均	3,900~5,300	1.5~2.1 0.6~0.8	2,551	7,020	—	—
都内平均	3,600~4,900	1.4~2.0 0.6~0.8	2,495	6,343	—	—

※1 花粉数は、花粉飛散シーズン中に花粉捕集器(ダーラム型)のスライドグラス1平方センチメートル内に付着した花粉の個数である。
 ※2 過去の飛散花粉数(最大、最小)は都の観測開始(昭和60年)以降のものである。なお、千代田は平成2年以降、小平は平成9年以降、多摩・立川・府中は平成17年以降のものである。

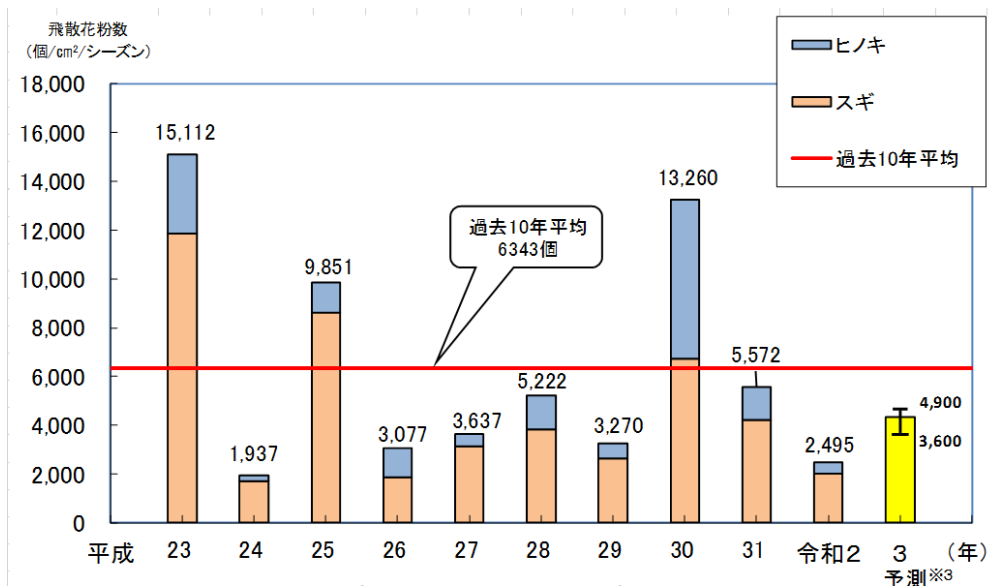
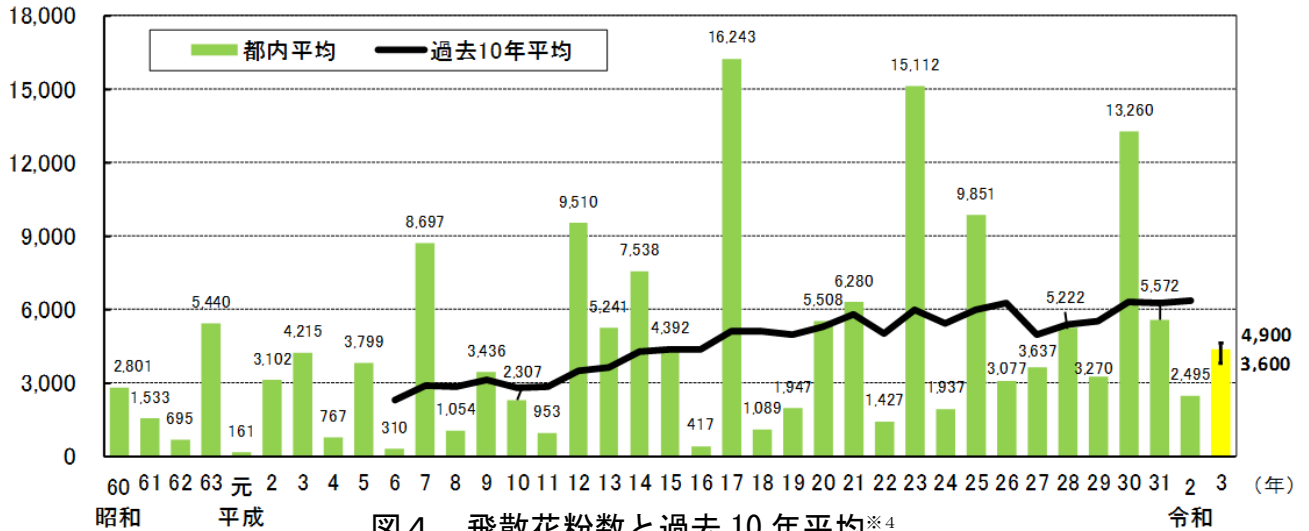


図3 飛散花粉数の経年変化 (都内12地点平均)

※3 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。予測値は、スギとヒノキの合計値です。

(個/cm²/シーズン)



※4 平成2年から千代田で測定開始、平成9年から小平で測定開始、平成17年から多摩、立川、府中で測定を開始した。平成17年以降は、現在の12地点で測定を行っている。

都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、過去10年平均は増加傾向にあり、平成6年時点の過去10年平均と比べて、現時点の過去10年平均は約3倍になっています。

4 飛散花粉数が多い日^{※5}の予測について

調整後の飛散花粉数の予測値に基づき、村山委員が行った各地点の飛散花粉数が多い日の予測を表4に示します。

表4 各測定地点の飛散花粉数が多い日の予測 (データ提供:村山貢司氏)

観測地点	千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
日数(日)	28	29	29	27	24	49	35	31	28	28	25	21

表5 飛散花粉数が多い日の予測

	令和3年予測 ^{※6}	令和2年	過去10年平均
区部(日)	27	24	36
多摩地域(日)	31	20	31
都内平均(日)	30	21	33

※5 飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器(ダークラム型)で測定した数値が1日あたり30個/cm²以上の日

※6 村山委員が行った予測(表4)から算出

飛散花粉数が「多い(30個以上)」の日数は、都内平均で30日程度となり、前年の21日より9日多く、過去10年間の平均の33日より3日少なくなる見込みです。

5 飛散開始日の予測について

	令和3年予測	令和2年平均	過去10年平均
飛散開始日 都全体	2月12日～16日	2月10日	2月16日
区部	2月13日～14日	2月12日	2月16日
多摩地域	2月12日～16日	2月9日	2月17日

飛散開始日は都全体で2月12日から16日頃と予測され、過去10年の平均よりもやや早くなる見込みです。

なお、2月初めごろに再度、飛散開始日の予測を行います。